

平成29年度 事故報告及び対策について



安全に目配り気配りで災害0を目指しましょう！

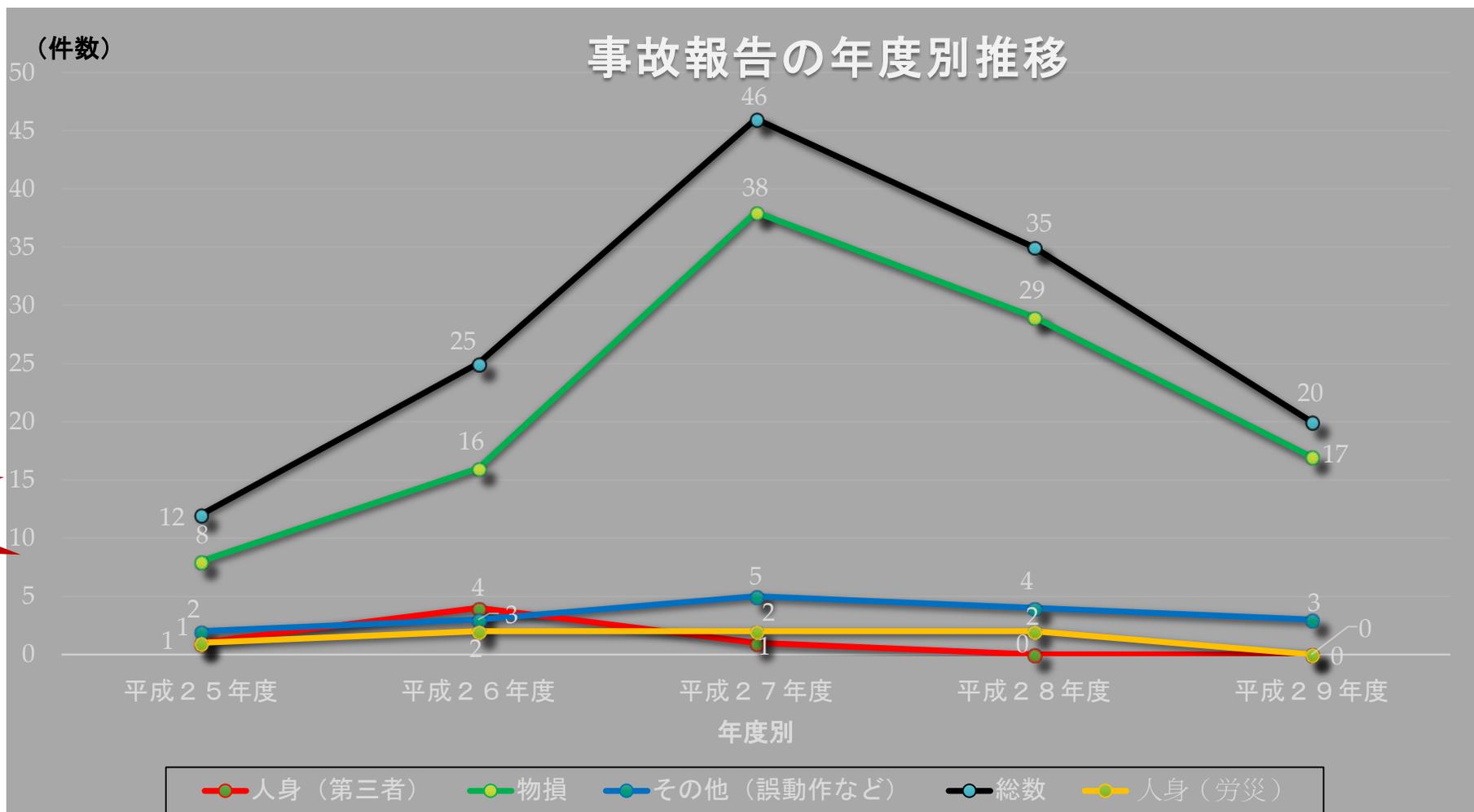
公益財団法人 横浜市建築保全公社 技術管理課

平成25年度から平成29年度までの比較

平成28年度 (35件)



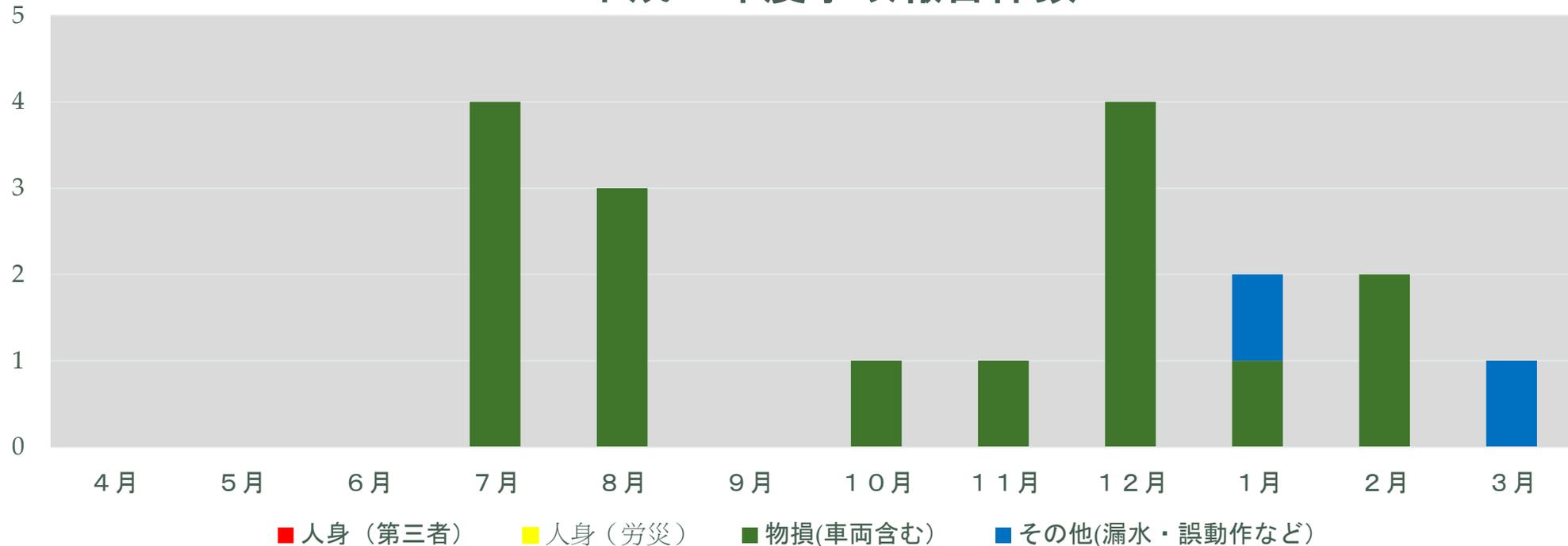
平成29年度 (20件)



平成29年度（3月末）

工事事故報告件数（20件）

平成29年度事故報告件数



平成29年度に発生した公社工事発注における事故の件数内訳

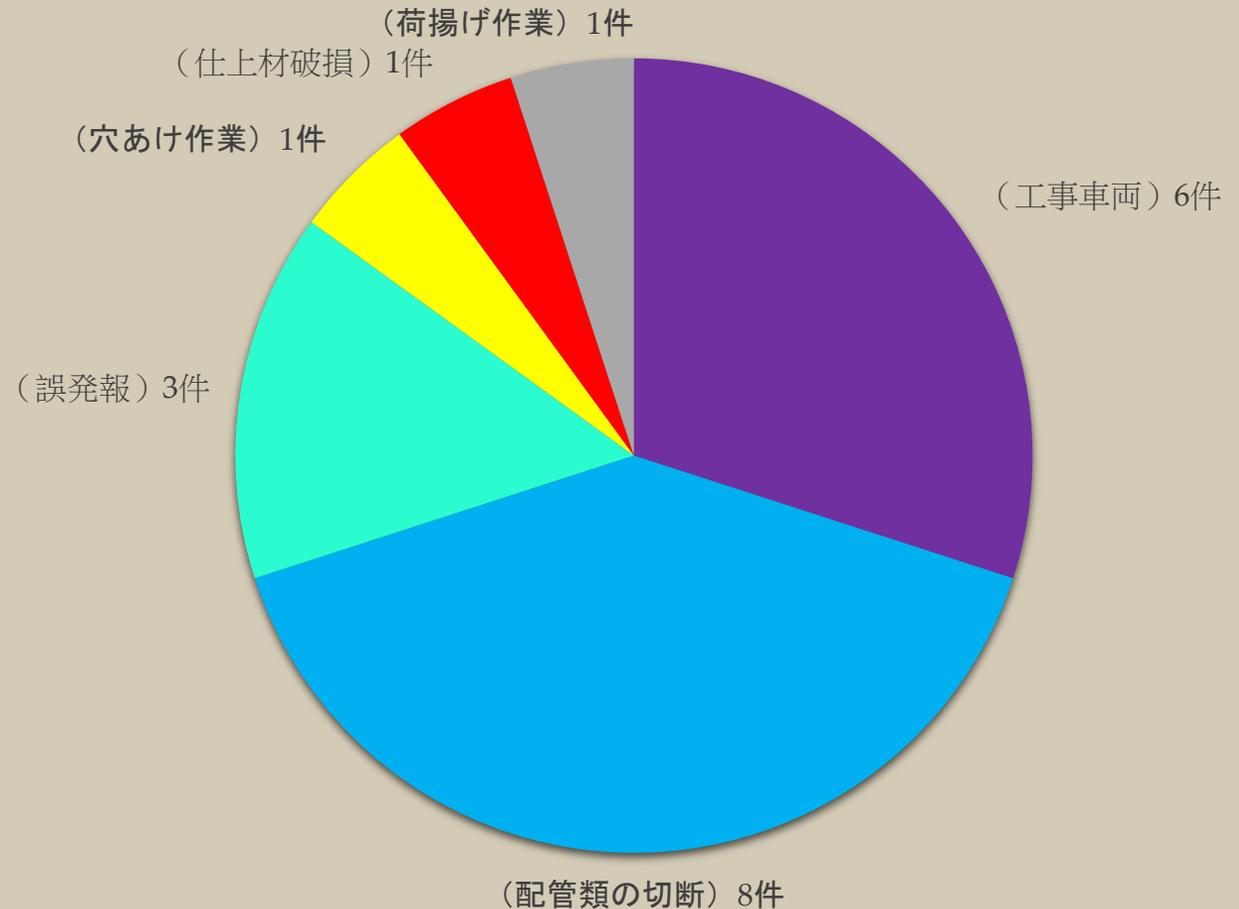
平成29年度事故内容

工事車両による事故
と解体時における配
管切断等の物損



現場での安全管理と
意識の向上を目指し
平成30年度での目標は、
工事事故撲滅0件！

平成29年度





◆ 事故事例の紹介

工事車両関係による物損事故

●高所作業車を移動中による事故



●点検用はしご物損事故



●工事車両による門扉物損事故



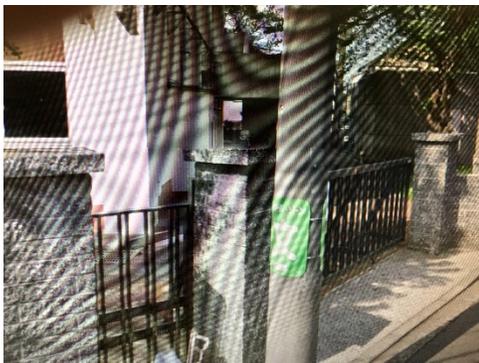
●工事車両による倉庫物損事故



●高所作業車を移動中による門扉支柱物損事故



● 段差を通過した際に門柱笠木部分に接触物損



● 揚重作業にて荷崩れし部材落下



● 揚重作業にて荷崩れし部材落下車両物損



● 吹付け材料の飛散による車両に付着



車両による事故を防止するには……

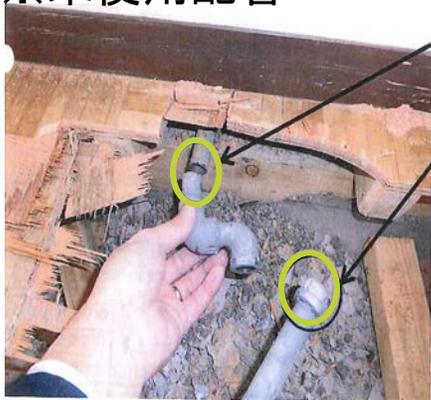
- 高所作業車による作業行う際は、バケットは下げて移動を行うこと。
- 車を傾斜地に駐車する時は、タイヤに車輪止めを設置すること。
- 大型重機等による搬出入作業がある場合は、誘導員を配置すること。
- 工事（大型）車両による入退時の移動は、バックによる走行移動は極力なくしてください。

- 工事車両の大きさも事前に確認し段差等にも気を付けて入場してください。
- 揚重作業を行う際は、運転合図の作業、機械作業に携わる者と作業内容、作業指示系統及び立入禁止措置等を連絡調整を行ってください。
- 工事エリアの区画を分け、事前に駐車車両等の移動が必要であれば確認調整をしてください。
- 各施設によってはそれぞれ違います。また、居ながら作業ですので、細心の配慮が必要です。

配管関係切断による事故

● ガス配管切断による事故

※未使用配管



● 給水管漏水事故による事故

誘導灯をショート



● 天井面にアンカー打設作業時に

火災報知器を発報による事故



配管切断事故を防止するには……

- 躯体等穴あけは、込み工事の場合でしたら電気・機械の専門業者に立会確認を行い作業する。
- コンクリート内や壁面は、事前に既存図等を用いて現地を調査確認しX線やレーダー探査し不明な場合は、手はつり作業にて慎重に施工をする。
- 外部埋設掘削作業時も上記同様に調査確認を行い不明な場合は、重機を使用せず手掘りで試掘作業を行う。

- 煙感知器等は、解体作業等のほこりで火災と思い感知してしまうので、養生が必要になりますが、作業終了後は養生を必ず取外してください。
- 断水工事の際は、影響範囲を事前に調査し、断水の範囲には表示を貼り注意喚起を行うと共に復旧する前に水栓の蛇口が開いていないか確認を行ってから、通水点検を行ってください。
- 停電作業から復電再開時に注意が必要です。電気器具等が復電再開と共に不用意に起動してしまうことが起こり最悪の場合、火災やけがにつながるので、施設内の電気器具の状態を全て確認するようにしてください。

1. 現場着手前における事故対策

- 受注されました現場が、こういった施設であるか。（危機意識・想像力・技術力）
- 現場管理者は、現場に着き施設の管理者と工事工程表・仮設計画等を打合せし確認
- 担当監督員に緊急連絡体制表・工事工程表・仮設計画等を提出し確認
- 施工者、施設管理者、担当監督員で全員で共有し確認

2. 工事事故の撲滅を目指して！

- どうしたらいいか？

- 朝礼でのKY活動の実施
- 作業ごとの注意するポイントを下請、孫請全員で共有し確認
- 現場へ入場される作業員の体調管理も大事なことです確認
- 機材の始業前点検確認
- 仮設足場、仮囲い、養生等の状況を点検および確認
- 現場内の清掃及び整理整頓の確認

3. 確認が必要なこと

- 工事施工体制台帳の作成および工事看板の設置状況の確認
- 施設管理者との打合せ時の安全対策（近隣対策含む）は守られているか確認
- 現場作業での何か気づいた点や事故等があった場合の工事連絡体制の確認
- 施工前の作業内容を施設管理者へ伝えまた、施設からの注意事項の確認
- 解体作業等による騒音を伴う作業や停電・断水等は口頭連絡ではなく書面確認

- 躯体穴あけ等による電気、設備配管などの切断事故を起こさない様に注意
- 煙感知器の養生を確実にを行い作業終了後は、養生の取り忘れに注意
- 壁面の穴あけ作業、地中埋設掘削作業、コンクリート内の埋設物にも注意
- 断水作業、停電作業からの切換え復旧作業時にも注意
- 搬出入車両による事故に注意

おわりに

- 現場管理者は、工事の施工前に危機意識をもって、下請、孫請業者との施工方法や事故予防に努めてください。
- 建築工事で込み工事ではなく電気、機械工事と分離発注されている場合でも建築工事の受注者は、連携して現場を取り仕切ってください。
- 現場管理者と施設管理者、担当監督員との（報告・連絡・相談）
万々に備えて迅速な対応が図れる様に現場環境を整え安全な施工に取り組んで行きましょう。



おつかれさまでした。